



NITTAIDAI
日本体育大学
公開講座

スポーツに伴う

救急事故を防ぐ



開催日
2016年
7月23日 土

入場無料
(定員450名)

どなたでもご参加できます

会場

日本体育大学 横浜・健志台キャンパス
百年記念館(1号館) 1402教室

主催 日本体育大学社会貢献推進機構
企画・協力 日体大総合研究所
後援(予定) 横浜市青葉区、横浜市体育協会、横浜市青葉消防署
横浜市医師会、青葉区体育協会、東京新聞、東京中日スポーツ
協賛(予定) ガイドードリンク

第1部 座長:武藤 芳照(日本体育大学特別招聘教授/日体大総合研究所所長)

- 1. スポーツ現場での救急事故の実態と特徴**
米倉 麻衣子(横浜市消防局)
- 2. 市民マラソンに伴う救急事故を防ぐ**
小川 理郎(日本体育大学保健医療学部教授)
- 3. 学校の運動会での組立体操に伴う骨折の実態と予防**
服部 辰広(日本体育大学保健医療学部講師)

第2部 座長:伊藤 譲(日本体育大学保健医療学部教授/整復医療学科長)

- 1. 剣道に伴う救急事故を防ぐ**
朝日 茂樹(日本体育大学保健医療学部教授/救急医療学科長)
- 2. 中学校での柔道に伴う救急事故を防ぐ**
樋口 毅史(日本体育大学保健医療学部講師)
- 3. 水泳に伴う救急事故を防ぐ**
 - (1) プールでの事故**
武藤 芳照(日本体育大学特別招聘教授/日体大総合研究所所長)
 - (2) 海浜での事故**
小峯 力(中央大学理工学部教授)

第3部 座長:伊藤 譲、武藤 芳照

総括質疑

主催者・
座長・
講演者



谷釜 了正



平沼 憲治



武藤 芳照



小川 理郎



服部 辰広



伊藤 譲



朝日 茂樹



樋口 毅史



岡部 綱好



米倉 麻衣子



小峯 力



日本体育大学
公開講座

スポーツに伴う救急事故を防ぐ

参加申込用紙

タイムスケジュール

- 12:30 開場**
司会進行: 岡部 綱好(保健医療学部講師)
- 13:30 開会式**
挨拶: 谷釜 了正(日本体育大学学長)(予定)
-
- 13:40 第1部/講演**
座長: 武藤 芳照(本学特別招聘教授/日体大総合研究所所長)
1. スポーツ現場での救急事故の実態と特徴
米倉 麻衣子(横浜市消防局)
 2. 市民マラソンに伴う救急事故を防ぐ
小川 理郎(保健医療学部教授)
 3. 学校の運動会での組立体操に伴う骨折の実態と予防
服部 辰広(保健医療学部講師)

< 休憩 >

- 15:00 第2部/講演**
座長: 伊藤 譲(保健医療学部教授/整復医療学科学科長)
1. 剣道に伴う救急事故を防ぐ
朝日 茂樹(保健医療学部教授/救急医療学科学科長)
 2. 中学校での柔道に伴う救急事故を防ぐ
樋口 毅史(保健医療学部講師)
 3. 水泳に伴う救急事故を防ぐ
(1) プールでの事故
武藤 芳照(本学特別招聘教授/日体大総合研究所所長)
(2) 海浜での事故
小峯 力(中央大学理工学部教授)
-
- 16:10 第3部/総括質疑**
座長: 伊藤 譲、武藤 芳照
- 16:30 閉会式**
挨拶: 平沼 憲治(保健医療学部長)

座長・講演者・司会進行プロフィール

武藤 芳照 Yoshiteru Mutoh
日本体育大学特別招聘教授/日体大総合研究所所長
愛知県出身。名古屋大学医学部卒業。東京大学理事・副学長等を経て、2013年日体大総合研究所所長、2014年保健医療学部教授、2016年より現職。スポーツ医学、身体教育学を専門とする。ロサンゼルス、ソウル、バルセロナ五輪の水泳チームドクターを務めた。

小川 理郎 Satoo Ogawa
日本体育大学保健医療学部教授
奈良県出身。日本医科大学大学院医学研究科(救急医学)卒業。医学博士。日本救急医学会評議員、日本救急医学会指導医/専門医、救急・外傷外科医。日本医科大学関連施設で救急医療・災害医療に従事し、救急救命東京研修所教授、日本赤十字社、足利赤十字病院救命救急センター長を経て日本医科大学救急医学教室から現職。

服部 辰広 Tatsuhiko Hattori
日本体育大学保健医療学部講師
新潟県出身。東海大学文学部卒業、日体柔整専門学校卒業(柔道整復師)。
日体柔整専門学校教学主任、帝京大学医療技術学部非常勤講師を経て現職。
研究領域:「運動器の外傷に対する柔道整復学的治療法の確立」をテーマとして研究を行っている。

伊藤 譲 Yuzuru Itoh
日本体育大学保健医療学部教授/整復医療学科学科長
大阪府出身。大阪医科大学大学院医学研究科機能系生理学分野修了。博士(医学)。
柔道整復師。日本体育協会公認アスレティックトレーナー。日本体育協会公認自転車競技コーチ。日本体力医学会評議員。
研究内容:四肢の運動器外傷の応急手当、スキー・スノーボード外傷について。

朝日 茂樹 Shigeki Asahi
日本体育大学保健医療学部教授/救急医療学科学科長
東京都出身。弘前大学医学部卒業。医学博士。脳神経外科専門医。専門は緊急時の保健医療、災害医学。永年のJICA国際緊急援助隊医療チーム、WHOでの人道活動に対して2014年読売新聞医療功労賞。

樋口 毅史 Takeshi Higuchi
日本体育大学保健医療学部講師
新潟県出身。帝京平成大学大学院健康科学研究科柔道整復学専攻修了。修士(健康科学)。柔道整復師。日本障害者スポーツ協会公認障害者スポーツトレーナー。視覚障害者柔道日本代表チームトレーナーとして海外遠征に帯同する。運動器外傷の応急手当、重心動揺などを研究テーマとする。

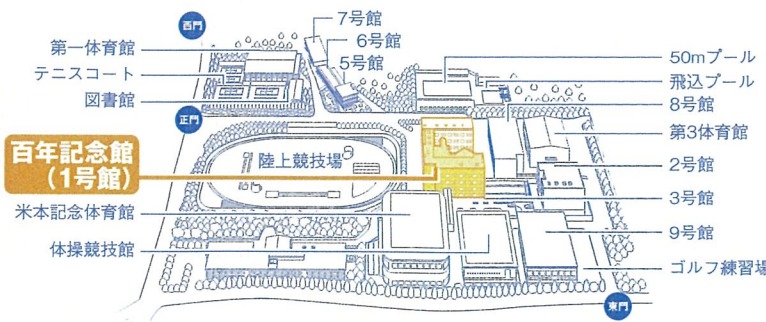
岡部 綱好 Tsunayoshi Okabe
日本体育大学保健医療学部講師
東京都出身。駒澤大学法学部法律学卒業、法学士。東京消防庁入庁、救急隊長、大隊長、署隊長、自治省(現、総務省)消防庁救急企画係長、東京都福祉保健局副参事(災害医療)、東京消防庁救急医療課長、成城消防署長等を歴任。

米倉 麻衣子 Maiko Yonekura
横浜市青葉消防署 救急隊員(救急救命士)/消防士長
東京都出身。麻布大学環境保健学部卒業後、国際医療福祉専門学校に入学し救急救命士資格を取得。
○平成22年4月 横浜市消防局入局
○平成23年4月 横浜市旭消防署勤務(消防隊員-救急隊員)
○平成27年4月 横浜市青葉消防署勤務(救急隊員)

小峯 力 Tsutomu Komine
中央大学教授/生命健康科学研究室
横浜市出身。日本体育大学卒業。同大学院体育学研究科修了。国土館大学大学院救急システム研究科博士課程(救急救命学専攻)卒業。日本ライフセービング協会理事長。日本海洋人間学会副会長。日本救護救急学会副会長 海上保安庁第三管区アトバイザー等に就任。博士(救急救命学)。

横浜・健志台キャンパス アクセスマップ

※お車でのお越しはご遠慮ください。



お申し込み期限 2016年7月22日(金) 17時まで メールまたはFAXで受け付けます

■お申し込み方法

- 参加希望者は、右記に内容を記載し、当該記載内容をメール又はFAXでお申し込みください。
- 当日ご来場の際は、本紙をご持参いただき、受付に提示してください。
- 参加された方には、修了証を差し上げます。
- 団体でお申し込みの場合、所属欄に「〇〇町会」、「〇〇クラブ」、会社名などをご記入ください。
- お申し込みの段階で定員数を超えていた場合、代表者にご連絡いたします。
- 連絡がない場合は、お申し込みは受理されたことになります。

氏名(代表者)	
所属	
連絡先(携帯)	
参加希望数	

E-mail shakaikouken@nittai.ac.jp

FAX 03-5706-0981

問合せ先

日本体育大学社会貢献推進機構スポーツプロモーション・オフィス TEL:03-5706-0911

担当

塚田、大久保